

Nakabayashi

ナカバヤシ・シュレツダ AP-406CR

取扱説明書

ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みください。また、いつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。

この『取扱説明書』を汚したり、紛失された場合は、機種名をご確認の上、販売店か当社営業担当者までご請求ください。

この製品を譲渡される場合は、次の所有者にこの説明書を必ず添付して譲渡してください。



AP-406CR の特長

- 面倒な袋の交換作業をアシストする自動梱包機能搭載シュレツダ
- A3サイズも処理できる投入口
- スイングローラーによる細断紙片の分散、ならし機能付き
- 待機電力ゼロ機能で待機時電力を0Wにカット(0Wは、ノイズフィルターなどの漏れ電力を除いた値です)
- プライバシーを守るクロスカットタイプを採用
- 移動に便利なキャスター付き

主な機能

オートスタート&ストップ

- 紙を入れると自動的に細断を始め、細断を終えると自動的に停止する、便利なオートスタート/ストップ機能。

オートリバース

- 細断可能な枚数以上の紙を入れると、自動的に逆転し、カッターやモーターへの悪影響を防止します。

満杯検知&アラーム

- 細断紙片が満杯になると、ランプと音でお知らせする親切な機能。

切屑飛散防止ガード

- 切屑飛散防止ガードにより、細断時やチップボックスの出し入れの際に、細断紙片の飛散を最小限に抑えます。

アシストパック

- 細断紙片で満杯になったチップ袋を自動で巻き取って閉じる自動梱包機能

安全装置

オートカット

- 過熱防止機能付き。モーターの温度が一定以上になると検知し、自動停止します。

自動運転停止機能

- 約30分間、投入口センサーが紙を検知している状態で連続運転すると、自動停止して待機状態に移行します。

ドアスイッチ

- 運転中に扉を開けると、動作を自動的に止める安全スイッチ。

ブレーカー





- 電気回路やモーターに過電流が一定時間以上流れると、自動的に電源が切れます。


I N D E X

1.安全上の注意事項	1
2.機械の設置	5
3.各部の名称と働き	6
4.操作方法	10
操作の前に.....	10
操作方法.....	12
操作上の注意.....	13
省電力モードについて.....	13
自動運転停止機能について.....	13
5.紙詰まり・細断紙片の処理方法	14
紙詰まりの処理方法.....	14
細断紙片の処理方法.....	14
全ての表示ランプが点滅している場合.....	16
6.簡単なトラブル処置(故障かな?と思ったら)	17
7.機械のお手入れ	18
カッターのお手入れ.....	18
シュレッダ本体のお手入れ.....	18
満杯センサーの掃除.....	19
8.主な仕様	20


1.安全上の注意事項

この「取扱説明書」には次の様なマークで注意事項を注記しています。

表示内容	マーク
禁止事項を示します。 禁止行為を行いますと、直接または機械の損傷の結果、けがを負う危険があります。 禁止の内容を  の中に絵文字で示します。	
要請事項を示します。 要請事項が実施されない場合は、十分な安全を保つことができません。 要請の内容を  の中に白抜き絵文字で示します。	

表示内容	マーク
注意事項全般を示します。 取り扱いの誤りによって、危険や損害が発生する可能性があります。発生する危険や、損害の程度によってマークの横に「警告」、「注意」と表示します。	
警告: 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される場合。 注意: 取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、及び物的損害のみの発生が、想定される場合。	

 このマークは機械を使用する際の保守上の注意を示します。

 このマークは機械を使用する際の補足や参考を示します。

ナカバヤシ・シュレッタを安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

⚠ 警告

●子供使用禁止

・子供（特に幼児）をシュレッタに近づけてはいけません。内部にはカッターがあり、思わぬ事故のおそれがあります。本シュレッタを操作できるのは、大人だけです。



●手、衣類、髪の毛の巻き込み注意

・投入口および排出口には、絶対に指を入れてはいけません。手を切るおそれがあります。

・服、ネクタイ、ネックレス、頭髮等を巻き込まれると、けがをするおそれがあります。



●可燃スプレー厳禁

・可燃性ガス、可燃性溶剤等を含むスプレーを使用してはいけません。引火、爆発のおそれがあります。



●電池投入禁止

・小形二次電池、ボタン電池等を投入口から入れてはいけません。発熱、発火、破裂のおそれがあります。



⚠ 警告

●のぞき込み禁止

・まれに投入口より細断片が飛び出してることがあります。細断中は投入口をのぞき込んだり、手を近づけたりしてはいけません。けがをするおそれがあります。



●分解、改造、修理の禁止

・この機械を、分解してはいけません。けがの原因となるおそれがあります。

・この機械を、改造してはいけません。火災や感電、けがのおそれがあります。また、お客様による修理は、危険な場合がありますから絶対にしてはいけません。

・この機械のカバー、キャビネットを外してはいけません。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。



●紙以外の細断禁止

・CD/DVD/FD（プラスチック、ガラス、金属片等を含む）を入れてはいけません。細断片だけでけがをするおそれがあります。また、故障の原因になります。



ナカバヤシ・シュレツダを安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

⚠ 警告

●万一、異常が発生したら

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常が発生した場合は、火災や感電のおそれがありますので、すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。
- 万一、異物(金属片、水、液体)が機械の内部に入った場合はすぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。
- この機械を落したり、カバーを破損した場合はすぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。



⚠ 警告

●指定電源以外は使用禁止

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用してはいけません。また俗に言う“タコ足配線”をしてはいけません。火災、感電のおそれがあります。



●電源プラグ、コードの取り扱い

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししてはいけません。感電の原因になることがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしてはいけません。また重たいものを載せたり、引っ張ったり無理に曲げたりすると、電源コードをいため、火災や感電のおそれがあります。








●アース線の接続

- アースに接続してください。アースに接続されないで、漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。なお、アースに接続できない場合は、販売店あるいは保守・サービス会社にご相談ください。








ナカバヤシ・シュレツダを安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

⚠ 注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置いてはいけません。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- この機械の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしてはいけません。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードおよび電源プラグは、奥まで確実に挿入してください。挿入が不完全だと火災や故障の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張ってはいけません。コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。
- 電源コードに触ると、通電したり、しなかったりする場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。

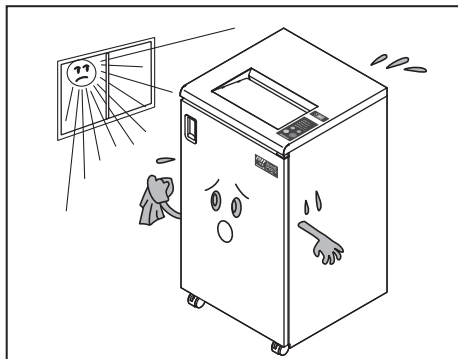
⚠ 注意

- 本機を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- 運転中に異常な音や振動がする場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグを抜いてください。そのままでは使用できません。販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。
- 湿気やほこりの多い場所に置いてはいけません。火災や感電の原因になることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置いてはいけません。火災や感電の原因になることがあります。
- この機械の天パネルの上へ、飲料水等をこぼしてはいけません。火災や感電の原因になることがあります。

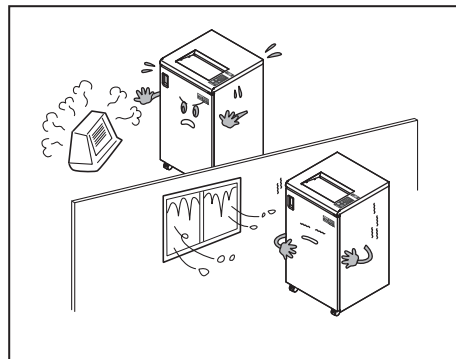
2.機械の設置

次の様な場所への設置は避けてください。

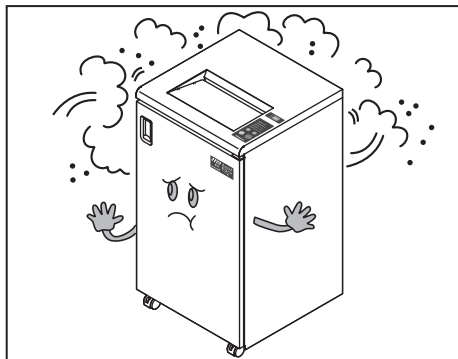
☆設置時の注意事項:アース線は必ず接地してください。



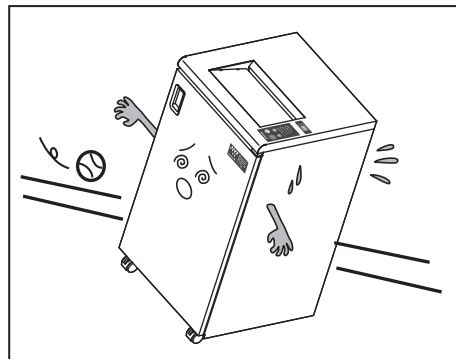
・直射日光のあたる所



・極端に温度や湿度が高いまたは低い所



・ほこりや振動の多い所



・水平でなかったり、不安定な所

3.各部の名称と働き



●本機は、紙細断用シュレツダです。
紙以外の物は、細断しないでください。

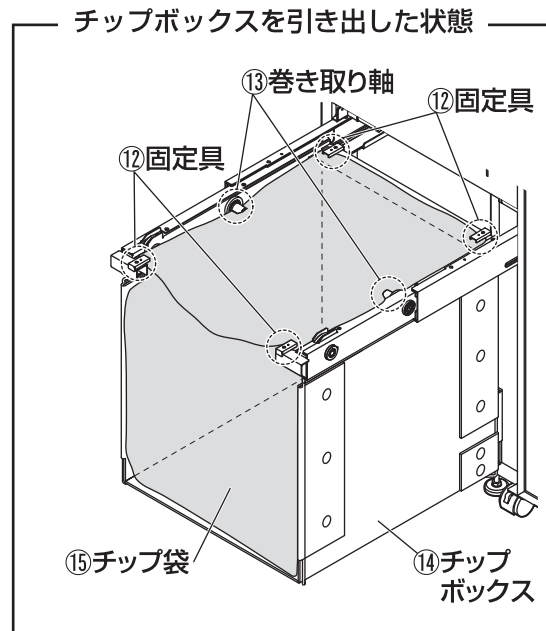
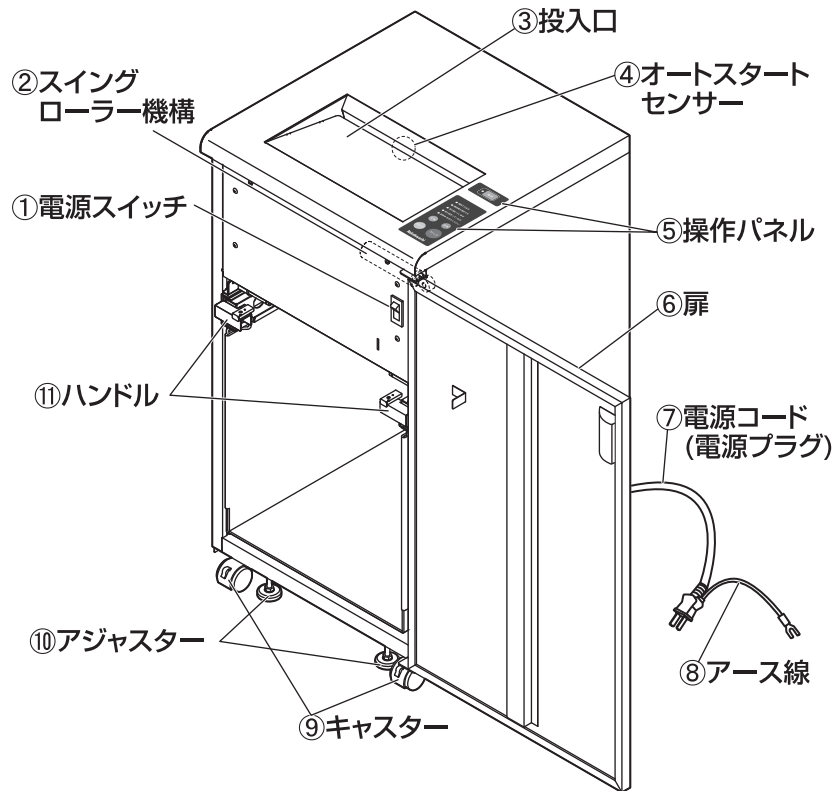


図1 外観図

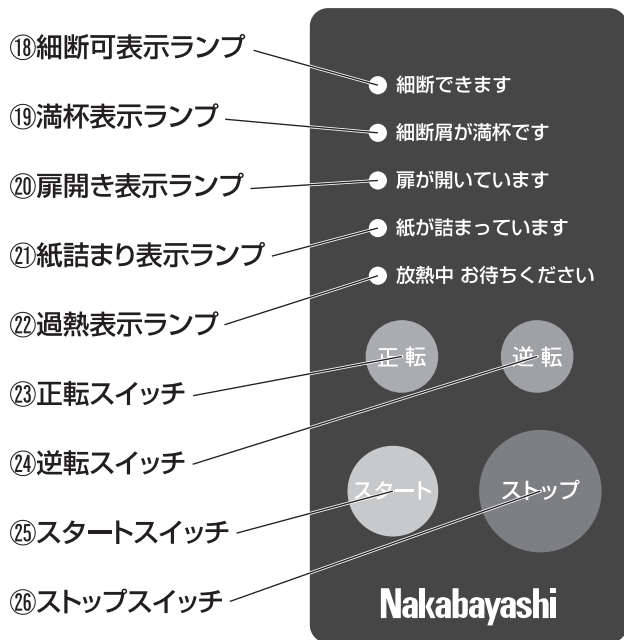
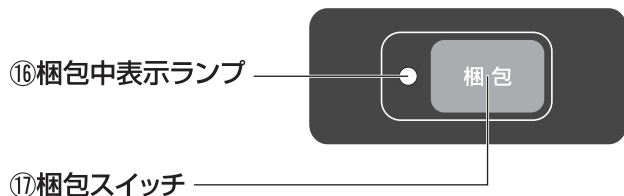


図2 操作パネル拡大図

①電源スイッチ

…このスイッチの上側を押すと電源が入ります。逆に下側を押すと電源が切れます。 図3 参照

☆過負荷が連続すると、安全のため自動的に電源スイッチが切れる場合があります。

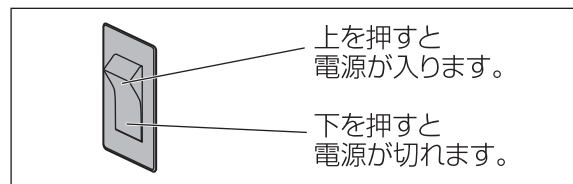


図3 電源スイッチ拡大図

②スイングローラー機構

…このローラーが細断中にスイングすることにより、細断紙片をチップ袋⑮内で分散、ならしめます。

③投入口

…細断する紙をここから投入します。

④オートスタートセンサー

…細断可表示ランプ⑩が点灯しているとき、投入した紙をこのセンサーが検知して自動的に細断を開始します。

⑤操作パネル

…シユレツダを操作するスイッチ類があります。 図2 参照

⑥扉

…チップボックス⑭を出し入れするときに開けます。

⑦電源コード(電源プラグ)

…このコードの電源プラグをAC100Vの電源コンセント

に接続してください。

⑧アース線

…電源コンセントのアース端子または、接地工事を行っている端子に接続してください。

⑨キャスター

…シュレツダの底面に4個取り付けられており、前部の2個はロック付です。シュレツダを移動するときには、キャスターのレバーを上げてロックを解除してください。シュレツダを使用する場合は、レバーを下げてキャスターをロックしてください。

図4 参照



●キャスターの破損を防ぐために、凹凸や段差のある場所での移動はさけてください。

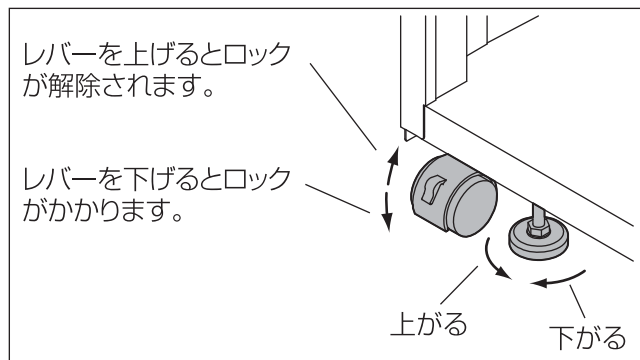


図4 キャスター・アジャスター拡大図

⑩アジャスター

…シュレツダの底面前方に2個取り付けられています。シュ

レツダの設置後は、このアジャスターでシュレツダを固定してください。アジャスターは回転させると上下しますので、床に着くまでアジャスターを下げてください。

図4 参照

⑪ハンドル

…ここを持ってチップボックス⑭を出し入れします。

⑫固定具

…チップ袋⑮を固定します。

⑬巻き取り軸

…チップ袋⑮を固定します。梱包時はこの軸でチップ袋⑮を巻き取ります。

⑭チップボックス

…シュレツダ内部に入れて、細断紙片を受け止めます。

⑮チップ袋

…細断紙片の飛び散りが無く処理できます。

⑯梱包中表示ランプ

…梱包中に点滅し、梱包が完了すると点灯します。

☆満杯表示ランプ⑲も同時に点灯、点滅します。

⑰梱包スイッチ

…満杯時以外で手動で梱包したい場合は、このスイッチを長押ししてください。

⑱細断可表示ランプ

…細断可能な状態のとき点灯します。

⑱満杯表示ランプ

…チップ袋⑮に細断紙片が満杯になると点灯します。このときシュレツダは残った紙を細断した後停止します。その後、自動的に細断紙片を梱包します。

梱包中は点滅し、梱包が完了すると再度点灯に変わりますので、細断紙片の処理をして、スタートスイッチ⑳を押してください。

☆梱包中表示ランプ⑳も同時に点灯、点滅します。

⑳扉開き表示ランプ

…扉⑥を開くと点灯します。閉めると消灯します。その後スタートスイッチ㉑を押すと、細断可能な状態になります。

㉑紙詰まり表示ランプ

…投入した紙が多すぎて、シュレツダが停止した場合に点灯します。このとき、シュレツダは一定時間逆転します。紙を取り除いて、スタートスイッチ㉑を押してください。

㉒過熱表示ランプ

…過負荷などでモーターが過熱した場合に、シュレツダが停止して点灯します。モーターの温度が下がるまで30分程度放置してください。その後、過熱表示ランプが消えたら、スタートスイッチ㉑を押してください。

㉓正転スイッチ

…細断可表示ランプ⑱、または紙詰まり表示ランプ㉑が点灯しているとき、このスイッチを押し続けている間、シュレツダが正転します。

㉔逆転スイッチ

…細断可表示ランプ⑱、または満杯表示ランプ⑲、または紙詰まり表示ランプ㉑が点灯しているとき、このスイッチを押し続けている間、シュレツダが逆転します。

㉕スタートスイッチ

…待機状態のとき、このスイッチを押すと、細断可表示ランプ⑱が点灯して、シュレツダが細断可能な状態になります。

㉖ストップスイッチ

…このスイッチを押すとシュレツダが停止します。全ての機能が停止し、待機状態になります。梱包後、このスイッチを押すとブザーが停止し、細断紙片の処理待ちの状態になります。このとき、梱包中表示ランプ⑳と満杯表示ランプ⑲が点灯します。

4.操作方法

操作の前に

- 1.アジャスター⑩を回転させて床まで着けてください。
P8 図4 参照
- 2.キャスター⑨のレバーを下げて、ロックしてください。
- 3.左右のハンドル⑪を持ち、チップボックス⑭が全部出る位置まで引き出してください。
図5 参照

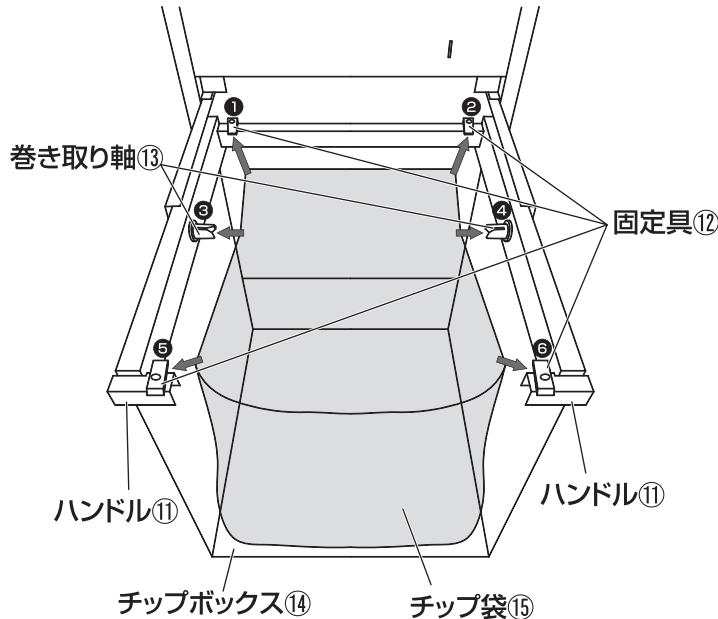


図5 チップ袋の固定

- 4.チップ袋⑮を広げ、奥側から番号順にセットしてください。
※チップ袋⑮の推奨サイズは、間口860~900mmです。
※⑤-⑥間以外はたるまないように、チップ袋⑮を張った状態で固定してください。
※固定具⑫は下から持ち上げて、奥に滑らせて挟んでください。

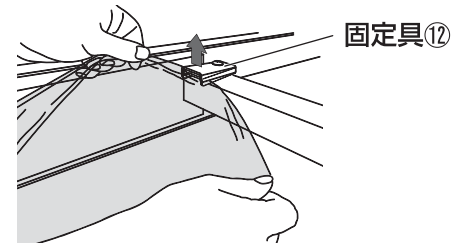


図6 固定具拡大図

- ※巻き取り軸⑬は溝の奥まで入れて、板バネに挟んでください。

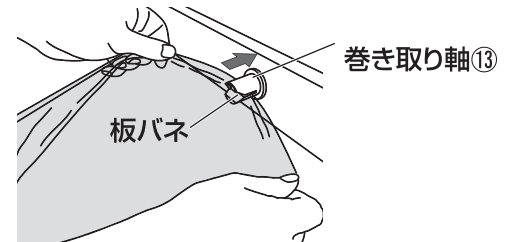


図7 巻き取り軸拡大図



- 細断機構部分に手を入れてはいけません。けがをするおそれがあります。
- レールのギヤ部にチップ袋⑮がかからないように注意してください。 図8 参照

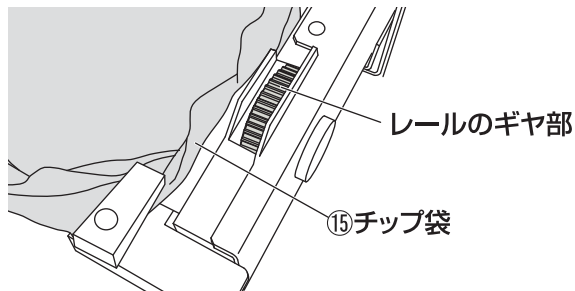


図8 ギヤ部拡大図



- チップ袋⑮は、チップボックス⑭の内側に密着するようにセットしてください。密着が不十分な場合、満杯センサーの誤動作や細断紙片が飛散する原因になります。 図9 参照



- 推奨サイズ以外のチップ袋⑮を使用した場合は、巻き取り時に細断紙片がこぼれる可能性があります。

5.チップボックス⑭を奥に当たるまで押し入れてください。
6.扉⑥を閉めてください。

☆扉⑥がハンドル⑪に当たって閉まらないときは、チップボックス⑭を少し引き出してから、もう一度押し入れてください。

7.電源コード⑦の電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。アース線⑧をアース端子に接続してください。

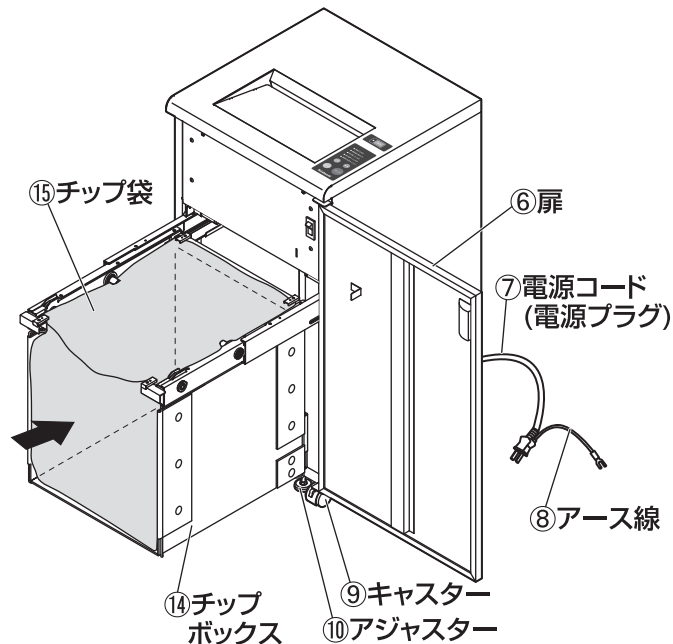


図9 チップボックスのセット

操作方法

1.扉⑥を開けて電源スイッチ①の上側を押してください。

P7 図3 参照

2.扉⑥を閉めてください。

3.スタートスイッチ⑫を押して、細断可表示ランプ⑬の点灯を確認してください。
P7 図2 参照

●オートスタートの場合

4.細断する紙を投入口③の中央に合わせて、まっすぐに投入してください。オートスタートセンサー④が紙を検知して、自動的に細断を開始します。

5.投入した紙が無くなると、シュレツダは自動的に停止します。

6.再度、紙を投入するとオートスタートセンサー④が紙を検知して細断を開始します。紙が無くなると、自動的に停止します。

☆名刺やはがきなど幅が狭い用紙は、センサー部を通しないとオートスタートが働きません。また、黒色や透明に近い紙も検知されないことがあります。その場合はマニュアルスタートで細断してください。

●マニュアルスタートの場合

4.正転スイッチ⑮を押し続けながら、細断する紙を投入口③に投入してください。

5.細断音が消えてから約5秒間、そのまま正転スイッチ⑮を押し続けてください。

6.正転スイッチ⑮を放してください。シュレツダが停止します。

●投入口から次のような物を投入してはいけません。故障の原因になります。



・濡れたり湿ったりしている紙



・ビニール袋などの樹脂製品



・衣類などの布



・OHPフィルムやカーボン紙



・粘着シールや粘着シールを貼っている紙



・クリップや安全ピンなどの金属



・折り曲げて定格細断枚数以上になった紙



・水などの液体

操作上の注意



●連続して使用される場合には、定格細断枚数の約12枚(50Hz)約10枚/60Hz)以下でご使用いただくと、刃物に負担がかからず円滑に細断が出来ます。細断枚数は、紙質、湿度、電圧等によって変わります。

●過熱表示ランプ⑳が点灯してシュレッダが停止した場合は、過負荷などによりモーターが過熱状態になっています。モーターの温度が下がるまで、30分程度放置してください。モーターの温度が下がると、過熱表示ランプ⑳が消灯しますので、スタートスイッチ㉕を押して、細断可表示ランプ㉑の点灯を確認してください。

警告

●たびたび過熱表示ランプ⑳が点灯する場合は、電源スイッチ①を切って、電源コード⑦のプラグを抜いてください。その後、販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。



省電力モードについて

●待機電力ゼロ機能

…何も操作をせずに一定時間(約10分)経過しますと自動的に細断可表示ランプ㉑が消灯します。(待機状態)

…再度スタートスイッチ㉕を押すと、細断可表示ランプ㉑が点灯して、自動的に細断を開始できる状態に復帰します。

☆ストップスイッチ㉖を押すと、すぐに待機状態になります。

☆自動的に待機状態になるまでの時間は、変更することが出来ます。変更したい場合は、販売店までお問い合わせください。

自動運転停止機能について

●投入口③のオートスタートセンサー④が、約30分間紙を連続検知している状態で運転すると、細断可表示ランプ㉑が消灯して自動的に運転を停止します。

P6 図1 参照

…そのままの状態ですぐに待機状態になります。

…投入口③に紙が残っていないか確認してください。残っている場合は、紙を取り除いてください。

P14「紙詰まりの処理方法」参照

…スタートスイッチ㉕を押すと、細断可表示ランプ㉑が点灯して、自動的に細断を開始できる状態に復帰します。

…再度、紙を投入してください。細断を開始します。



●使用しない場合は、安全のため電源スイッチ①の下側を押して電源を切ってください。

P7 図3 参照

5.紙詰まり・細断紙片の処理方法

紙詰まりの処理方法

- 投入した紙が多すぎると、紙詰まり表示ランプ⑳が点灯して、モーターが一定時間逆転して停止します。このときブザー音が鳴ってお知らせします。以下の手順に従って、紙詰まりを処理してください。
- 1.投入口③より紙を取り出してください。紙詰まり表示ランプ⑳が消灯します。
 - 2.紙が詰まって取り出せないときは、逆転スイッチ㉑を押し続けてモーターを逆転させ、戻ってきた紙を取り除いてください。紙詰まり表示ランプ⑳が消灯します。
 - 3.戻ってきた紙が取り出せないときは、正転スイッチ㉒を押して細断してください。細断を完了すると、紙詰まり表示ランプ⑳が消灯します。
 - 4.スタートスイッチ㉓を押して、細断可表示ランプ㉔を点灯させてください。
 - 5.紙の量を減らして、再投入してください。

細断紙片の処理方法

- チップ袋⑮が細断紙片で満杯になると、梱包中表示ランプ⑯と満杯表示ランプ㉑が点灯し、残った紙を細断した後停止します。このとき、『ピーツ』というブザー音が3回鳴ってお知らせします。
その後、両ランプが点滅し、自動的に細断紙片の梱包を開始します。梱包中は『ピピツ』というブザー音に変わります。



- 梱包が終わるまで、扉⑥を開けないでください。

梱包が終わると、再度両ランプが点灯し、『ピーツ』というブザー音が鳴ってお知らせします。



- 扉⑥を開けるまでブザー音は鳴り続けます。

以下の手順に従って、細断紙片を処理してください。

- 1.扉⑥を開けて左右のハンドル⑪を持ち、チップボックス⑭が全部出る位置まで引き出してください。
- 2.チップ袋⑮の巻き取り部を持ち、左右の巻き取り軸⑬からチップ袋⑮を引き抜いてください。

P15 図10 参照



- 巻き取り軸⑬からチップ袋⑮を引き抜く際は、抜けたはずみで機械に手をぶつけないように注意してください。

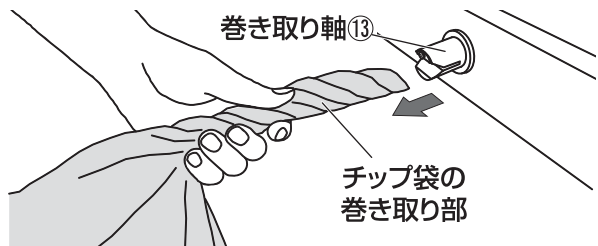


図10 チップ袋の取り外し方

- 3.チップ袋⑮をチップボックス⑭から降ろしてください。
- 4.引き抜いたチップ袋⑮の巻き取り部を縛り、細断紙片を捨ててください。 図11 参照



図11 細断紙片の捨て方

- 5.新しいチップ袋⑮をセットしてください。

P10「操作の前に」参照

- 6.スタートスイッチ⑳を押して、細断可表示ランプ⑱を点灯させてください。



- 満杯時以外で手動で梱包したい場合は、梱包スイッチ㉑を長押ししてください。

⚠ 注意

- 細断が完全に終わってから扉⑥を開けてください。
スイングローラー機構②は自動で水平位置まで戻ります。スイングローラー機構②が水平位置に戻る前にチップボックス⑭を引き出すと、故障の原因になります。



⚠ 注意

- 満杯表示ランプ⑱が点灯している場合は、細断紙片を必ず処理してください。
梱包が完了した状態のまま細断をすると、故障の原因になります。



☆満杯時に自動的に梱包をせず、手動で梱包する仕様に変更することが出来ます。変更したい場合は、販売店までお問い合わせください。

全ての表示ランプが点滅している場合

- スイングローラー機構②が細断紙片の中で動かなくなっている場合は、細断可表示ランプ⑱が消灯して、その他の表示ランプは全て点滅します。以下の手順に従って、細断紙片を処理してください。

⚠ 警告

- 電源を切らずに作業を行うと、シュレッタが作動した場合、けがをするおそれがあります。



- 1.扉⑥を開けて電源スイッチ①の下側を押して電源を切ってください。
- 2.スイングローラー機構②周辺の細断紙片を、手で押し下げてください。 **図12 参照**
- 3.電源スイッチ①の上側を押して電源を入れて、扉⑥を開めてください。
- 4.スタートスイッチ⑳を押して、細断可表示ランプ⑱を点灯させてください。スイングローラー機構②が水平位置に戻ります。
- 5.梱包スイッチ㉑を長押しし、細断紙片を処理してください。

P14『細断紙片の処理方法』参照

⚠ 警告

- チップ袋⑮の細断紙片を押し下げる場合には、カッター内部に絶対に手を入れてはいけません。また、手を保護するために手袋を使用してください。

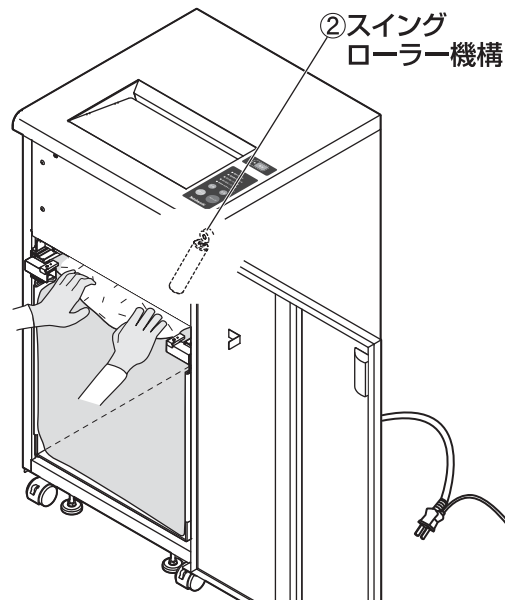


図12 細断紙片の押し下げ

6.簡単なトラブル処置(故障かな?と思ったら)

このようなときには…	処 置	参照頁
<p>●シュレツダが動かない (細断可表示ランプ⑱が点灯しない)</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源コード⑦は接続されていますか?……………電源コード⑦のプラグをコンセントに差し込んでください。……………P11 電源スイッチ①は入っていますか?……………電源スイッチ①の上側を押してください。……………P7 図3 待機電力ゼロ機能により、電源が切れていませんか?……………スタートスイッチ⑳を押してください。……………P13 <p>(扉開き表示ランプ㉑が点灯している)</p> <ul style="list-style-type: none"> 扉⑥が開いていませんか?……………チップボックス⑭を奥まで入れて、扉⑥を閉めてください。……………P11 <p>(満杯表示ランプ⑲が点灯している)</p> <ul style="list-style-type: none"> チップ袋⑮が満杯ではありませんか?……………細断紙片の処理をしてください。……………P14 <p>(紙詰まり表示ランプ㉒が点灯している)</p> <ul style="list-style-type: none"> 投入口③に細断物や細断紙片が残っていませんか?……………投入口③に残っている細断物や細断紙片を取り除いてください。……………P14 <p>(過熱表示ランプ㉓が点灯している)</p> <ul style="list-style-type: none"> 定格細断枚数より多い枚数で長時間の連続細断を……………30分程度放置して、モーターを冷やしてください。過熱表示ランプ㉓が したり、紙詰まりを連続して起こしていませんか?……………消灯してから、スタートスイッチ⑳を押してください。……………P13 		
<p>●紙を投入しても、細断を開始しない</p> <ul style="list-style-type: none"> オートスタートセンサー④を通過するように……………オートスタートセンサー④を通過するように紙を投入してください。 紙を投入していますか?……………または、マニュアルスタートで細断を行ってください。……………P6/P12 		
<p>●細断紙片の処理をしても、すぐに満杯表示ランプ⑲が点灯する</p> <ul style="list-style-type: none"> 満杯センサーに紙粉等が付着していませんか?……………満杯センサーの掃除を行ってください。……………P19 		
<p>●細断が終了しても刃物が止まらない</p> <ul style="list-style-type: none"> 投入口③に細断紙片が残っていませんか?……………投入口③のセンサー窓に残っている細断紙片を、ピンセット等を使って 取り除いてください。……………P6 図1 		



●処置をしても状態が改善されない場合は、販売店あるいは保守・サービス会社に修理を依頼してください。

7.機械のお手入れ

カッターのお手入れ

- 本機を末永くご使用いただくために、定期的にかッター部分に別売りのオイルを注油してください。

注油方法

1.紙の上にオイルを図のように塗布してください。

図13 参照

2.その紙を別紙で上下からはさみ、オイルを紙によくなじませてください。

3.そのまま紙束をシュレツダで細断してください。

☆オイルは別売りの専用オイルをご使用ください。専用オイルの購入は、販売店までお問い合わせください。

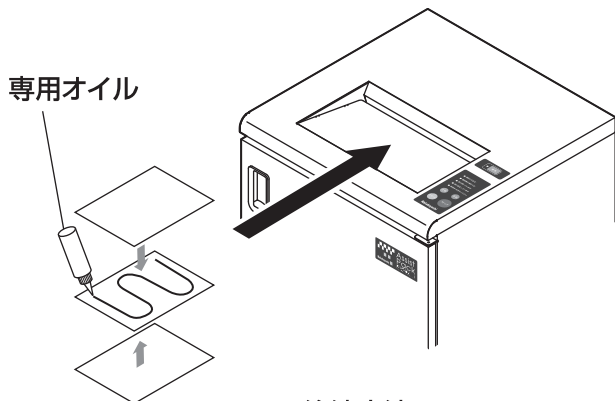


図13 注油方法

⚠ 注意

- 注油の際は、オートスタートセンサー④にオイルが直接付着しないように注意をしてください。オイルが付着すると、細断紙片や紙粉が付き、誤作動を起こすおそれがあります。



シュレツダ本体のお手入れ

- シュレツダ本体に付いた汚れは、柔らかい布などで拭いてください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をふくませ、軽く絞った布で拭いてください。
- ⚠ ●シュレツダ本体を揮発性の溶剤(シンナー、ベンジン等)では、拭かないでください。変色や変形するおそれがあります。

⚠ 警告

- 機械内部、及びカッター部に絶対に手を入れてはいけません。手を切る、または感電するおそれがあります。



満杯センサーの掃除

- 紙粉や細かい細断紙片が満杯センサーに付着すると、満杯センサーの感度が落ち、細断紙片がチップボックス⑭からあふれる場合があります。定期的に掃除を行ってください。

掃除方法

- 1.電源スイッチ①の下側を押して電源を切り、電源コード⑦の電源プラグを抜いてください。
- 2.満杯センサーに付着した紙粉や細かい細断紙片を柔らかい布等で取り除いてください。 図14 参照



- センサーを揮発性の溶剤(シンナー、ベンジン等)では、拭かないでください。故障するおそれがあります。



- センサーを固い物(金属製工具、ドライバー等)でこすったり叩いたりしないでください。傷が付いたり、誤作動を起こすおそれがあります。

警告

- 電源を切らずに作業を行うと、シュレッダが作動した場合、けがをするおそれがあります。

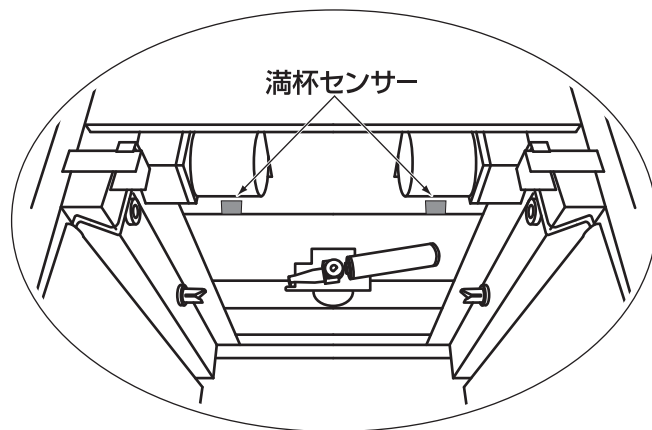
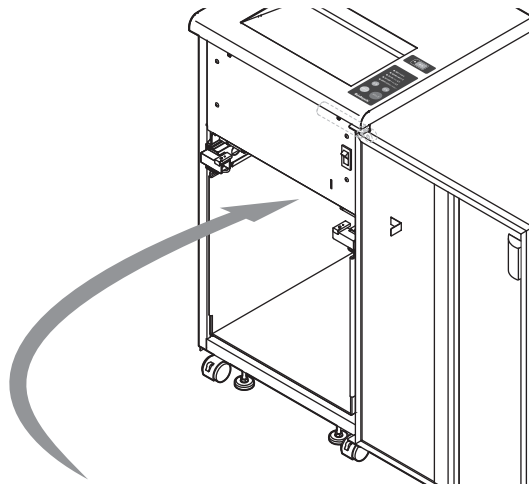


図14 満杯センサーの掃除

8.主な仕様

形 式	AP-406CR
細 断 寸 法	約3×25mm
定 格 消 費 電 力	330W(50Hz)/355W(60Hz)
定 格 細 断 枚 数 * ¹	12枚(50Hz)/10枚(60Hz)
最 大 細 断 枚 数 * ¹	約22枚(50Hz)/約20枚(60Hz)
投 入 幅	320mm
定 格 電 圧	100V、50/60Hz
外 形 寸 法	500(W)×500(D)×900(H)mm
質 量	68kg
チ ッ プ ボ ッ ク ス 容 量	76ℓ
付 属 品	チップ袋

*¹ -A4上質紙64g/m²タテ方向

注:細断枚数は紙質、湿度、電圧、投入方法により変化します。
改良のため、予告なく仕様、外観を変更することがあります。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。消耗品の注文あるいは、サービスを依頼される時、お役に立ちます。

販売店名 _____

電話(- -)

サービス実施店名 _____

電話(- -)

ご購入年月日 _____

ナカバヤシ株式会社

東京本社 〒174-8602 東京都板橋区東坂下2-5-1 TEL 03-3558-1228
株式会社ナカバヤシ 〒599-8116 大阪府堺市東区野尻町2-21-3 TEL 072-286-8090
名古屋支店 〒456-0053 名古屋市熱田区一番2-2-6 TEL 052-661-6151
福岡支店 〒812-0051 福岡市東区箱崎心頭5-7-11 TEL 092-641-3661
札幌営業所 TEL 011-531-1006 横浜営業所 TEL 045-279-7884
仙台営業所 TEL 022-284-3045 広島営業所 TEL 082-536-0250
高松出張所 TEL 087-831-5825



ナカバヤシホームページは下記のアドレスでご覧になれます。

<https://www.nakabayashi.co.jp/eco>